



新しい治療法への挑戦

治療への希望を伝えたい。

余命宣告ではなく

膵臓がん患者さんに、

新しい治療法を確立するため、
臨床試験費用 1,000 万円が必要です
— 関西医科大学附属病院 膵臓外科 里井壯平 —

毎日放送 News ミント! で放映

6月11日(火) 16:30-17:10 放送予定 (関西地区のみ)
* 放送翌日以降に、毎日放送ホームページ News ミント!
「特集」コーナーで全国どこからでもご覧になれます。

以下の臨床試験用資金、合計 **1,000** 万円を2019年**9月8日(日) 23**時まで募っています。

新治療法確立のための臨床試験 (医師主導治験) 費用

「膵がん」の5年生存率は、7%前後。初期症状がないため、早期発見できず病院にいったらいきなり余命宣告ということも多々あります。病院で膵がんと診断される70-80%の患者さんは手術ができないほど、がんが転移し進行しています。中でも、腹膜に転移している「腹膜転移」の患者さんは治療を行うことすら難しく、治療をあきらめる施設もあります。

20年以上、胆膵外科という領域で多くの患者さんを診てきました。「膵がんの腹膜転移治療に少しでも希望の光を見出したい」と胃がんの腹膜転移の治療法を応用した新しい治療法を検討し、臨床研究を行いました。33名の患者さんに治療を行い、そのうち8名は腹膜への転移が消失して手術ができるまでに回復し、この成績は世界的な医学専門誌に発表することができました。

しかし、新しい治療法で用いた医薬品は適用外使用のために、広く普及できない状況にあります。医薬品の規制では、新たに臨床試験を行い、効能追加の承認を受けて保険適用にする必要があり、私たちはこの臨床試験 (医師主導治験) を計画しています。どうか、膵がん患者が希望を持てる未来に向けてご支援にご協力をお願いいたします。



関西医科大学
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY
関西医科大学附属病院
胆膵外科 里井壯平

関西医科大学附属病院、医師の里井壯平です。外科医になり30年、うち20年間、胆膵外科という領域で多くの患者さんを診察し手術や化学・放射線治療を行ってきました。死亡率が高く明確な治療法がない、膵がんの腹膜転移の新しい治療法を確立するため「腹膜転移治療研究会」を立ち上げ、臨床研究を行ってきました。膵がん患者に新しい治療を届け希望を見出すために、このプロジェクトに挑戦します。

クラウドファンディングとは

クラウドファンディングとは、インターネット上で広く資金調達を行う手法です。定められた期間内に目標金額が集まった場合、皆様からのご寄附を活用することができます。期間中に目標金額に満たなかった場合、寄附金は全て寄附者様に返金されます。

▶お問い合わせはこちらまで

寄附受付担当: Readyfor 田中
✉ mayu.tanaka@readyfor.jp
☎ 070-1302-3881 📠 03-6801-5768

(対応時間: 平日 10:00~18:00 * 担当が不在の場合はお電話折り返させていただきます)

ご寄附はこちらから

皆さまのあたかいご寄附をお願いいたします。

目標金額

寄附金受付

1,000万円

2019年**9月8日(日)23**時まで

ご支援方法

詳細は WEB をご覧ください▼

- ・銀行振込
- ・クレジットカード

膵がん レディーフォー

<https://readyfor.jp/projects/suigan>



ご寄附の前に
必ずお読みください

- ・今回はクラウドファンディングサービス Readyfor を通し、関西医科大学医学部に寄附されます。
- ・本プロジェクトへの寄附は、関西医科大学医学部への寄附扱いとなり、税制上の優遇措置の対象となります。
- ・控除を受けるためには、原則、寄附を行った翌年の所定の時期に確定申告を行っていただく必要があります。

※1 寄附をした方の給与収入や家族構成などに応じた控除額の上限がありますので、ご注意ください (詳細は総務省 HP を参照)。
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/furusato/mechanism/about.html